

ニュージーランドワインの Only One & Number One

ニュージーランドワインはとてつもないポテンシャルを秘めています。世界のワイン市場でもまだあまり知られていないニュージーランドワインが持つ、他にはない特徴を紹介する企画です。ニュージーランドワインのオンリーワン(これしかない)とナンバーワン(これがすごい)を毎月紹介していきます。絶対買っておくべきワイン、どうしても飲んでおきたいワインがわかります。

By
Jean 長尾 & Bill Vincent
Village Winery Ltd.

No.5 SAUVIGNON BLANC ソーヴィニヨン・ブラン

そのマルボロの中でも、NZのSBを世界的に有名にしたのがクラウティール・ベイです。

彼らの初ヴィンテージ1985年のSBを、イギリスの著名なワイン評論家ヒュー・ジョンソン氏が最高のSBと評価し、一大センセーションを巻き起こしました。

ワインメーカーで写真家でもあるケヴィン・ジャッドの造るワインは、毎年世界中から高い評価を得ています。現在、グーヴ・クリコ(フランスのシャパン・ハウス)が所有するクラウティール・ベイのワインはほとんどが海外に輸出され、NZ国内用には数100ケースしかなく、それもすぐに売切れてしまうというのが現状です。

若いうちが飲み頃といわれるSBですが、先月飲んだクラウティール・ベイの1990年のものは、まだフレッシュなところも残しながら、とてもまろやかで複雑な味わいの素晴らしいワインでした。出来のよいSBは、瓶熟成が可能で、な事を、ちゃんと証明してくれたいと思います。

SBの多くは、このワインの特徴である、新鮮さとしつかりたフルーツの酸味を生かすために、ステンレスのタンクで低温発酵させるのですが、クラウティール・ベイでは1996年から樽発酵させたSB「The Stone」(テ・ストーン)を造っています。世界一のSBを造るといわれていて、フランスの有名なワインメーカー、ディディエール・ダガノー氏

今回はNZ(ニュージーランド)が世界に誇る白ワインソーヴィニヨン・ブランです。私が刈り立ての芝生のような香りがすると思っているこのワインのぶどう品種名は、青葉を傷つけたような香りを持っていることから「Savage」(サバージュ) 野生の という語が元になっているという説があります。

フランスはボルドー地方の白ワイン用ぶどうの品種として、またロワール地域の白ワイン、プワイ・フメやサンセールが有名なSB(ソーヴィニヨン・ブラン)種の栽培がNZで始まったのは、1970年代と比較的最近のことでした。ワインの産地として南島のマルボロ地方に注目したモンタナ社が、1973年オークランドのワインヤードからSBの挿し木用切り枝をマルボロに持ち込み、研究を重ねた結果、ついに1980年から一般消費者向けに販売を始めました。

NZのSBの特徴は、その生産地域によって大きく分けてに分ける事が出来ます。ホークス・ベイとそれ以北で造られる北部のもの、南島とウエリントン地域で造られる南部のものです。北部のスタイルは熟成度の高さとネクタリン、桃、メロンやトロピカル・フルーツの香りが特徴です。一方南部のものは赤ピーマン、グースベリー(セイヨウスグリ)やパッション・フルーツなどの刺激的な酸味とハーブのような青い葉っぱの香りがするのが特徴です。

スタイルに違いが現れる一番の要因は気候で、南部の涼しく長く乾いた夏が、酸味のはっきりとした力強いSBを生み出しているのですね。ちなみに、SBの3分の2以上がマルボロで栽培されています。

マルボロ以外でも素晴らしいSBは造られています。1985年からホークス・ベイでワイン造りを始めたという歴史のあるワイナリー Te Mata Estate Coleraine, Awatea, Bullnose Syrah, Eison Chardonnay など世界的にも評価の高いプレミアムワインが有名ですが、彼らのOke Oke SBもクラウティール・ベイの、テ・コと同じように樽発酵させた最高級のワインです。凝縮されたトロピカル・フルーツの奥にあるイチジクやこんがり焼かれたトーストの香ばしさ等が、やさしく口の中に広がるこのワインは、最低2〜3年は瓶の中で熟成させてから飲みたい本格的なSBです。

マルボロの新しいワイナリーで注目されているのが「Steele Estate」(エイブル・タスマンの地図に示されているNZの名前がこれで、オランダ語で「New Land」の意味、オナーはタスマンと同じオランダ人) 初ヴィンテージ2000年のSBが、アメリカの有名なワイン雑誌で90点を獲得するなど、最初から素晴らしい評価を受けています。

2001年のヴィンテージは、とても乾燥した夏と秋のため、ぶどうを4回に分けて収穫し、更にぶどうのクロアチンに達したワイン造りの技術を使い分けることで、複雑な味のSBに仕上げています。パッション・フルーツやハーニー・メロンの香り、凝縮したトロピカル・フルーツの味、その奥にある干草の匂い、ナッツやクリームに似た複雑な香ばしい風味、そして最後に残るささいな酸味など……試してみる価値はあると思います。



ワインテイスティングのお知らせ

11月28日(木曜日)7:00PMより、
Village WineryとE Cube共同主催による
第5回ワインテイスティングを行います。
みなさん12月は忙しいことと思いますので、
今回は本年最後のテイスティングです。
クリスマスも含め、
スパークリング・ワインを含め、
赤白合わせて10種類程を
パーティー形式で試飲したいと思います。
一足早いクリスマス・パーティー……
みいたな感じで。
プレゼントの当たる抽選会も予定しています。
先着30名様まで予約を受け付けます。
参加費は軽い食事つきで35ドル。お申し込みは
Village Winery(Tel 09-638-9780)まで

正直な事をいうと、私はNZに来るまでSBをおいしいと思っただけでありませんでした。新鮮な空気のせいなのか?なぜかSBを美味しく感じる今日この頃です。その国で飲む地元のワインは美味いといいますが、本当にそうだと思います。特にこれからの季節、アウト・ドアでいただくランチには欠かせないワインです。

マルボロ以外でも素晴らしいSBは造られています。1985年からホークス・ベイでワイン造りを始めたという歴史のあるワイナリー Te Mata Estate Coleraine, Awatea, Bullnose Syrah, Eison Chardonnay など世界的にも評価の高いプレミアムワインが有名ですが、彼らのOke Oke SBもクラウティール・ベイの、テ・コと同じように樽発酵させた最高級のワインです。凝縮されたトロピカル・フルーツの奥にあるイチジクやこんがり焼かれたトーストの香ばしさ等が、やさしく口の中に広がるこのワインは、最低2〜3年は瓶の中で熟成させてから飲みたい本格的なSBです。

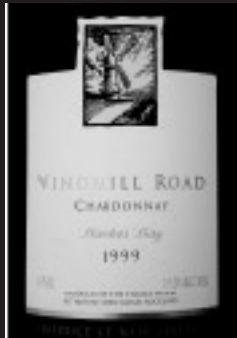
マルボロの新しいワイナリーで注目されているのが「Steele Estate」(エイブル・タスマンの地図に示されているNZの名前がこれで、オランダ語で「New Land」の意味、オナーはタスマンと同じオランダ人) 初ヴィンテージ2000年のSBが、アメリカの有名なワイン雑誌で90点を獲得するなど、最初から素晴らしい評価を受けています。

2001年のヴィンテージは、とても乾燥した夏と秋のため、ぶどうを4回に分けて収穫し、更にぶどうのクロアチンに達したワイン造りの技術を使い分けることで、複雑な味のSBに仕上げています。パッション・フルーツやハーニー・メロンの香り、凝縮したトロピカル・フルーツの味、その奥にある干草の匂い、ナッツやクリームに似た複雑な香ばしい風味、そして最後に残るささいな酸味など……試してみる価値はあると思います。



マルボロの新しいワイナリーで注目されているのが「Steele Estate」(エイブル・タスマンの地図に示されているNZの名前がこれで、オランダ語で「New Land」の意味、オナーはタスマンと同じオランダ人) 初ヴィンテージ2000年のSBが、アメリカの有名なワイン雑誌で90点を獲得するなど、最初から素晴らしい評価を受けています。

マルボロの新しいワイナリーで注目されているのが「Steele Estate」(エイブル・タスマンの地図に示されているNZの名前がこれで、オランダ語で「New Land」の意味、オナーはタスマンと同じオランダ人) 初ヴィンテージ2000年のSBが、アメリカの有名なワイン雑誌で90点を獲得するなど、最初から素晴らしい評価を受けています。



エレガントなフレンチスタイルのオリジナルブランド、ウインドミルロード

ニュージーランドワインを豊富に品揃えしている
日本に宅配サービスも受け付けています……

Add : 417 Mt. Eden Road Mt. Eden, Auckland Tel : +64-9-638-9780 Fax : +64-9-638-9782
Email: winevill@ihug.co.nz Web: www.villagewinery.co.nz